

# Together

Shukutoku University Magazine  
No.243 | 2024.4.1

学長メッセージ

## 新入生のみなさんへ

特集

## 地域共生センター

ウィズ・ユー 在学生紹介

カナダ・トンプソンリバーズ大学  
英語・異文化研修を通じて

Shukutoku Topics

## 留学生別科

淑徳人 No.239 Interview

看護の現場経験を活かし、  
子どもの安全を守る地域づくりへ

ともいきのころ

## 学祖・長谷川良信先生の足跡

淑徳人たちを育てた先生

## 大石みつ先生

## CAMPUS NEWS





淑徳大学 学長  
山口 光治

淑徳大学の多様な学びから  
新たな時代で生き抜く力を  
身につける



新入生のみなさん、保証人の皆様、ご入学まことに  
おめでとうございます。  
大学4年間の学びの場を、こゝ淑徳大学に定められた  
ご縁に感謝申し上げます。  
皆様のなかには、今年の元日に発災した能登半島地震  
で被災された方もいらっしゃるかと報告を受けています。改  
めて心よりお見舞いを申し上げますとともに、多くの尊  
い命が犠牲となったことに対して哀悼の意を表します。  
さて、新入生のみなさんは、これから始まる4年間を想  
像して、胸を高鳴らせているところではないでしょうか。  
淑徳大学はご存じの通り、千葉埼玉・東京の4つのキャン  
パスに7学部13学科、2研究科、そして留学生別科を  
擁する総合大学です。今年度も多くの新入生を迎え、各  
キャンパスでの学びがスタートします。

本学では昨年度より、新たな取り組みをスタートさせ  
ました。

ひとつは、本学の建学の精神である「利他共生（＝他  
者に生かされ、他者を生かし、共に生きる）」のもと、本学  
のブランドイメージをより印象的に発信していくため、大  
学ロゴマークのタグライン「共に歩む これまでも これから  
も」を策定しました。

また、本学のどの学部・学科に入学した学生であっても、  
4年間の教育の基盤に置かれた「S-BASIC」(全学  
共通基礎教育科目)、これは学生一人ひとりがこれからの  
社会で生き抜くために必要とされる力をつけられるよう  
に体系化し、運用を開始しました。

さらに、「淑徳大学地域共生センター」を開設し、学  
生が地域社会に関わり、自主的・主体的な地域活動、ボ  
ランティア活動などを推進し、地域住民の受け入れを  
含めた災害時体制の構築を体験的に学ぶ活動などを  
進めております。

これらは一例ですが、福祉の淑徳は、これまでも、そ  
してこれからも「共に生きて共にいかしあう」共生社会  
を支えうる人材の育成に尽くしてまいります。

この淑徳大学で、みなさんにはぜひ、豊かな人間関係  
をリアルに築いてほしいと思います。大学は、高校  
までとは違う自分を表現できる場所です。新しい仲間  
をどうやってつくるか、どのような人間関係を構築して  
いくか、初めは戸惑うかも知れません。みんな同じス  
タートラインに立って踏み出していく仲間と思いい、共に歩  
んでいきましょう。

社会が大きく変化し、数年先を予測することすら難  
しい時代ですが、淑徳大学での授業の学びはもちろん、  
地域共生センターをはじめとする多様な課外講座やボ  
ランティア活動、サークル・クラブ活動などにも参加して、  
新たな時代を生き抜く力を身につけてほしいと思  
っています。

みなさん一人ひとりが、夢や目標に向かって学びたい、  
成長したいと思いい行動する限り、私たち教職員はそれ  
をしっかりと応援致します。

ようこそ淑徳大学へ。

新入生の  
みなさんへ

各学部長のご紹介



コミュニティ  
政策学部  
学部長

芹澤 高斉



総合福祉学部  
学部長

千葉 浩彦



教育学部  
学部長

山田 晋治



看護栄養学部  
学部長

林 雅晴



人文学部  
学部長

小川 博章



経営学部  
学部長

千葉 千枝子



地域創生学部  
学部長

矢尾板 俊平



淑徳大学 地域共生センターについて

地域での活動、体験を通して建学の精神である「利他共生」の行動化をいっそう推進するために創設されたセンターです。淑徳大学の「共生(ともいき)」の伝統を基に取組みられたボランティア活動や地域活動を推進しています。



プログラム・活動

[知る][体験する][実践する]を軸とした、さまざまなプログラム・活動に参加してみよう!

知る	体験する	実践する
<p>復興支援スタディツアー</p>	<p>はじめての一步企画</p>	<p>パネルシアターキャラバン</p>
	<p>防災・災害支援プログラム</p>	<p>地域活動・ボランティア活動</p>
		<p>学生発案のプログラム</p>

**全キャンパス**  
**スタディツアー**

被災地を実際に訪れ、被災状況や教訓、備えについて体験的に学ぶ「スタディツアー」を実施しています。今後自らの地域に災害が起こった時を想定し、災害時・平時の取り組みについて考えるプログラムです。

**千葉キャンパス**  
**防災・災害支援プログラム**

今後起こりうる災害に備えて、学生・教職員・地域の方とともに大学の防災や災害支援の在り方について、ワークショップを交えながら考えていく取り組みを進めています。

**東京キャンパス**  
**「まえのふれあい子ども食堂」プロジェクト**

東京キャンパスのある、板橋区前野町で地域住民が中心となり開設する子ども食堂の運営に関わる学生チームが定期的に活動を始めました。



淑徳大学認定プログラム  
**「淑徳大学ともいきリーダー」認定制度**



令和6年度より、科目履修と体験活動を行った学生へ「淑徳大学ともいきリーダー」の称号を付与する認定プログラムを開始します。

① **T-BASIC(ともいき基礎知識講座)**

本学の建学の精神「利他共生」の原点について、福祉、淑徳、共生をキーワードに「ともいき」を生涯にわたり実践してきた方々から想いや信念を学びます。

+

② **S-BASIC(地域活動と社会貢献 他)**

「地域活動と社会貢献」…社会貢献の意義と役割、地域活動の現状と課題について理解し、ボランティアなどの地域活動に参加することで、社会の一員として、社会の発展のために自ら積極的に関わることができる姿勢を養います。

③ **ともいき体験**

本学の建学の精神や伝統に触れながら、ボランティア・地域活動をはじめとしたさまざまな体験活動に参加します。目的意識を持ち、地域で学び・地域で活かすプログラムを展開していきます。

**淑徳大学ともいきリーダー認定!**



はじめの一步企画

地域で活躍しているさまざまなゲストをお招きし、面白い取り組みや地域活動の話を知ることができます。ワークショップをしたり、実際に地域で使われているスキルを得られる企画もあります。

「地域活動ってどうやって始めればいいの?」  
「どんな活動があるの?」

…と考えている、  
地域活動の「はじめの一步」を踏み出そうと  
している学生におすすめの体験会です!



ボランティアや実習などさまざまな場面で使えるスキルを得られる体験会



地域で活用されているカードゲームを使ったワークショップ体験会

詳しくは各キャンパスへ



千葉キャンパスと東京キャンパスには活動の情報提供・相談の心強い味方「コーディネーター」がいます



地域共生センターでは、本学の学生・教職員に加えて、同窓生、地域の方など、どなたでもご参加いただける企画もご案内しています。ぜひ一緒にご参加ください。



地域共生センターからの情報はこちらから→

在学生紹介

カナダ・トンソンリバーズ大学 英語・異文化研修を通じて

英語力だけでなく、精神的にも成長して帰ってきた学生たち。 総代・優秀学生として選出された3名に、感想を聞いてみました。



2023年8月8日～29日の3週間、カナダ・ブリティッシュコロンビア州にあるトンソンリバーズ大学で夏期英語・異文化研修が行われました。世界各国からの留学生たちとともに、生の英語やコミュニケーション、カナダの文化と大自然のアクティビティを体験するプログラムです。2023年度は14名の学生が参加しました。



人文学部 歴史学科 2年 高田 慶之さん



経営学部 経営学科 2年 桑折 奏斗さん



看護栄養学部 栄養学科 2年 加藤 杏菜さん

※学年は取材時のもの

研修に参加したきっかけを教えてください。

【加藤】海外に行ってみようという好奇心と、学生の今だからこそできる体験をしたいという気持ちから参加しました。

【高田】大学で学んだ英語スキルを伸ばしたくて参加を決意しました。また、異文化体験を通じて、新しい価値観に触れたいと感じていました。

【桑折】私は、英語はあまり得意ではなかったのですが、この研修で他者との違いを学び、新たな出会いや文化の違いを五感で感じたかったからです。

カナダでは、どんな出会いがありましたか。

【高田】研修先の大学では、日本人の他にも韓国、台湾、メキシコからの友達と英語で交流ができました。お互いの国の言葉を教え合ったり、一緒に出掛けたりと素晴らしい体験がふれていました。語学を学びたいという

う、同じ目的を持っているので、スムーズにコミュニケーションを取ることができたと感じています。

【加藤】ホームステイ先のファミリーとも文化的な交流を深めることができました。研修では大学の枠を超え、別の学部や他県の大学から参加する人とも友達になりました。

【桑折】国籍を超えた友人だけでなく、教員との出会いも印象的でした。文化の面でも、新しい食や気候の違い、動物とのふれあいを体験することができました。

どんなところに文化の違いを感じましたか？

【桑折】現地の人たちのフレンドリーさに驚きました。バレーボールをしていた時、現地の学生が話しかけてくれ、一緒にプレーを楽しみました。

【高田】まず感じたのは食事時間の違いですね。一度の食事が10分程度で終わることが一般的で、ホストファミリーに聞いてみたら、「カナダ人は早

く食べる」と。日本では、30分以上かけて食べる人が多いので、その食文化の違いに驚きました。



【加藤さん的一枚】カナダで出会った友達と担任の先生との写真です

【高田】クロージングセレモニーでは、3週間のプログラムで知り合った仲間たちと再会し、セルフイーを撮り合いながらお互いの印象を話す時間がありました。優しくて個性的、尊敬できる仲間たちとのひと時を振り返り、幸せな気持ちに包まれました。

研修を経て自身が変わったと思うことはなんですか。

【高田】世界のどこかに、ありのままの自分を認めてくれてる人がいる」と感じるようになったことです。カナダで出会った友人たちの存在が、自分自身を受け入れる自信をくれました。英語への抵抗感も克服し、もつ



【高田さん的一枚】ホストファミリーとハイキングをした時に、頂上から見下ろした景色です。雄大な自然に圧倒され、映画の中のような気分になりました

と学びたいと思うようになり、この経験が人生観に大きな影響を与えました。

【加藤】研修を経て、言語と文化の壁がなくなると感じています。実際に現地に行かなければ理解できなかった経験でした。

【桑折】研修を経て、感謝の言葉が自然に口から出るようになりました。素直な気持ちを伝えることの大切さを学んだ経験でした。

研修中で印象に残ったことを教えてください。

【加藤】ファミリーと一緒に乗ったカヤックやフェスティバルに遊びに行ったことです。海外ならではの活動で、自分自身が成長できたと感じ、たくさんの友達もできました。

【桑折】ホームステイ最終日にロシアやベネズエラからのゲストが来て、あいさつや文化の違いについて長い時



【桑折さん的一枚】ホームステイ最終日の夕食後に撮った記念写真です

国際交流センターでは、学生のみなさんのニーズに合わせて、多彩な海外研修や留学を提供しています。

- 1 「英語・異文化研修」は、夏期カナダ(3週間)、春期オーストラリア(4週間)で、英語の集中授業、ホームステイ、地元の文化や自然を満喫できる研修内容で語学力とコミュニケーション能力を高めます。参加者への補助金による支援制度があります。
2 「体験型研修」は、英語圏に限らずその国ならではの環境のなかで、ボランティアや教育視察等の貴重な経験を通して自己の見聞を広げ、将来に活かすことを目的とした5~7日間の研修です。
3 「長期海外留学」は、在学中に半期や1年ほどの期間で行う留学です。海外でじっくりと学びたいという方に対して個別で相談に応じております。

国際交流センターからのお知らせ



- ① 体験型(SDGs)研修(韓国)
② 体験型(SDGs)研修(フィリピン・セブ島)
③ 英語・異文化研修(オーストラリア・ウーロンゴン大学)
④ 英語・異文化研修(カナダ・トンソンリバーズ大学)
⑤ ブラジル派遣研修

国際交流センター 東京キャンパス7号館
※2024年1月より、東京キャンパスへ移転しました。
メールアドレス: kokusai@daijo.shukutoku.ac.jp
電話: 03-5918-8253(担当 宮川)



日本語を学び、日本の文化に触れる /

# 留学生別科

2023年4月、淑徳大学東京キャンパスに留学生別科が新設されました。留学生別科では、日本語教育に精通した教員による丁寧な指導のもと、淑徳大学への進学を目標とし、大学のカリキュラムを受講するために必要な能力の修得を行っています。



## 留学生別科の授業について

留学生別科のコースは4月入学（1年コース）10月入学（1.5年コース）があります。どちらのコースも日本語能力の修得に必要な4技能（話す・聞く・読む・書く）の授業の他、日本文化や生活を学ぶ「日本事情」科目や学生の主体的な学びを促進するための「フィールドワーク」科目もあり、体系的に学修することが出来る授業編成となっています。学生達は修了までに日本語能力試験の「N1またはN2取得」の目標を掲げ、淑徳大学の進学を目標に日々学修に取り組んでいます。

## 「留学生別科 ランチ会」を行いました

2023年11月、淑徳大学学部生との交流会「留学生別科 ランチ会」を行いました。交流会では日本語や英語を使用しながら学部生、留学生別科生共に積極的にコミュニケーションを取り、同じキャンパスで学ぶ仲間としての絆を深めることができました。



ランチ会の様子。みんなで楽しい時間を過ごしました

## SNS「X」の留学生別科公式アカウントを開設しました。

2023年11月よりSNS「X」の公式アカウントを開設し、留学生別科の日常をより多くの方に知ってもらうため、日々発信をしています。留学生別科の「こんなことが知りたい」等があればぜひ教えてください。



SNS「X」留学生別科公式アカウント



## 淑徳大学公式キャラクター「SHUKUTOKUMA（しゅくとくま）」留学生別科バージョン誕生

淑徳大学公式キャラクターしゅくとくまの留学生別科バージョン「Becca（ベッカ）」が誕生しました。これから他学部・他学科のしゅくとくまと共に、淑徳マインドをみなさんに伝えていきます。



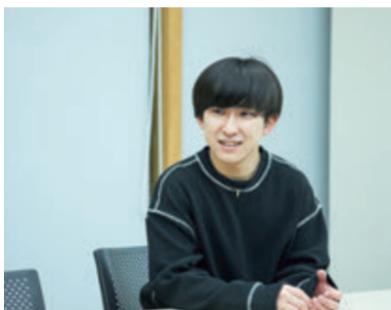
授業中の様子

## 医療現場での連携では「共に生きる」が基盤となった

大学を卒業して3年間、小児専門病院の手術室看護師として経験を積みました。小児の手術は特殊で繊細なケースが多く、医療従事者、患者、家族との連携が重要です。特に患者さんやご家族へのケアにおいては、大学で学んだ「共に生きる」の精神を基盤に、専門的なアプローチと



子どもの患者さんに接する中で、虐待などの社会問題について考えるように



看護師から保健師、研究者へと転身。大学時代の先生にも相談しました

綿密なコミュニケーションを心がけています。

振り返ってみると、挑戦と成長の連続だった学生生活。最大限の努力で対峙した授業や実習、仲間や先生の協力を得て困難を乗り越えた先に、総代での卒業という結果を得ることができ、充実した4年間でした。知識の蓄積だけでなく、実習や国家試験に向けた勉強を通じて仲間と共に学び合う大切さを知ったのも大きな収穫です。また、先生方が一人ひとりの学生に向き合い、その学生なりに頑張れる方法を引き出してくださいました。今でも当時の友人や先生方と連絡を取り、仕事の相談や近況報告、キャリア面のサポートを受けるなど、大学を軸にした交流が続いています。

## 2資格を取得したからこそ挑戦の可能性が広がった

4月から新しい挑戦を考えて



大学は学生の成長をサポートし、可能性を開いてくれる場。在学生のみなさんには夢を追い、挫折や困難に立ち向かってほしいです。同じ志を持つ仲間と共に歩み、力を発揮していきましょう。

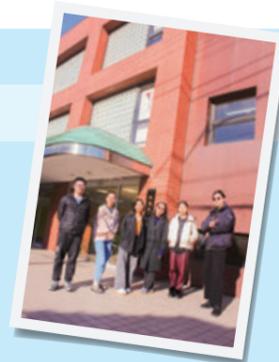
## Cover Story



～表紙の写真は私が撮りました～

私は、黒羽ゼミに所属しており、テーマパークや地方創生、プライダル等、幅広い分野を研究しています。2022年度経営学部LAプログラム広報、2022年度・2023年度淑徳祭埼玉キャンパス広報局長を務めました。日頃から一眼レフカメラを持ち歩き、近所の日常風景や旅先での思い出を写真に納めSNSで発信を行っています。

経営学部 観光経営学科  
大塚 真哉さん



淑徳人  
No.239  
Shukutoku OB&OG  
Interview



新たな社会 課題への挑戦

## 看護の現場経験を活かし、

## 子どもの安全を守る

## 地域づくりへ

千葉県こども病院 手術室看護師(2024年3月末まで)  
市原市役所 保健師(2024年4月入職予定)

## 柘谷 哲平さん

Masuya Teppei

看護栄養学部 看護学科2021年卒  
淑徳大学大学院 看護学研究科看護学専攻  
(2024年4月進学予定)



千葉第二キャンパス

第2回翔蓮祭が開催されました

2023年10月28日(土)に、看護栄養学部(千葉第二キャンパス)の学園祭である翔蓮祭が開催されました。従来は千葉キャンパスとの合同実施でしたが、2022年度より第二キャンパス単独運営となり、今回が二度目の開催となります。昨年度の振り返りをもとにさらなる工夫を凝らし、健康フェスタ・食や看護に関する企画など看護栄養学部ならではの企画が盛りだくさん。他にも縁日やミニSL、声優トークショー(KENNさん)などのイベントで学園祭らしい雰囲気の花を添えました。当日は好天に恵まれ、地域住民の方々や子どもさんを中心に昨年以上の来場者を迎え、逆にスタッフ学生が対応に戸惑ってしまうという嬉しい悩みもありました。

授業や実習で忙しいなか、翔蓮祭実行委員の学生中心に準備を進め、2023年度も成功裏に終えることができました。今後も来場者の方が楽しんでいただけるような企画を続けていきたいですね。



キャンパス内中庭を利用した翔蓮祭名物・ミニSL

「看護の仕事」企画での手浴体験

高大連携事業「公開授業&キャンパスツアー」を開催

昨年度に引き続き、地域連携委員会主催の高大連携事業「公開授業&キャンパスツアー」を2023年12月19日(火)に行いました。千葉南高等学校の生徒10名と先生1名が参加してくださいました。前半は看護・栄養学科別の公開授業、後半は演習室での手浴体験・キャンパスツアーを本学学生のボランティアのもと、行いました。実施後のアンケートでは、「先生や学生の説明が分かりやすく、大学での生活をイメージすることができた」「先生と学生の仲が良く、アットホームな雰囲気だった」という感想が寄せられました。

看護栄養学部では、今後も近隣高校等との連携・協力を得て、地域に開かれた親しみやすい大学を目指します。



高校生にとって新鮮な学びの1日となりました

真剣に聞いている姿が印象的でした



埼玉キャンパス



埼玉キャンパス  
チェリーロード横

千葉第二キャンパス



千葉第二キャンパス  
正面玄関前広場

千葉キャンパス



千葉キャンパス  
中庭(10号館側)

淑徳大学ではSDGs推進のため、さまざまな企画を進めています。その一環として、ソーラー充電スタンドを千葉第二キャンパスに設置しました。このソーラー充電スタンドは、上部のソーラーパネルで集めた太陽光を利用して、充電ケーブルでスマートフォン等を充電できる仕組みになっています。非常時には電源として使用でき、外灯としても機能します。付属のフラッグやステッカーには本学の公式キャラクター「しゅくとくま」が描かれています。淑徳大学は今後もSDGsの推進に向けて取り組んでまいります。



ソーラー充電スタンドを設置しました

千葉キャンパス

夏期短期留学プログラムを実施しました

2023年8月27日(日)~9月3日(日)までの8日間、本学の協定校である、中国・湖南省長沙民政職業技術学院国際交流処の胡葵先生および学生7名が来校し、夏期短期留学プログラムを実施しました。

滞在期間中は、会話を中心とした日本語の学習や生花体験、日中料理体験または大巖寺見学、社会見学、文化体験など、盛りだくさんのプログラムに取り組みれて、とても充実した一週間を過ごしていました。

淑徳大学としては、今回初めて海外から大学生を受け入れ、短期留学プログラムを実施しました。これからは、さまざまな国から、多くの大学生を受け入れ、淑徳大学独自のプログラムを作ってまいります。



生花体験授業の様子



修了式の様子

台湾・大仁科技大学一行が来学されました

2023年12月12日(火)に、大仁科技大学社会工作系徐嘉隆先生と学生25名が本学に来校されました。

徐先生は同大学で、研究開発及び国際兩岸事務処産業界学及育成センター長をつとめておられます。一行は山口学長による「高齢者虐待の実態と対策」の授業を受講しました。介護現場での虐待問題について、日本と台湾の現状を比較しながら、みなさん熱心に講義を受講し、積極的に質問もされていました。

講義後、役職者と懇談し、今後の両大学の国際交流、短期プログラムの実施、教員の交流について意見交換しました。今後は、両大学間の学生交流または教員交流を通じて、良好な国際関係を深めてまいります。



講義の様子



両大学の学生集合写真



2023年11月16日(木)に大巖寺にて、ネパールの高僧であるアチャリヤ・ニラマ・カルマ・サンゲボ師に淑徳大学名誉博士の学位記が授与されました。

式典には、ドゥルガ・バハドゥール・スベネイ駐日ネパール大使も列席されました。

学位記授与式後には、「利他共生の教えと実践」と題して、ライニング・コンズン2階にて記念講演のご講演を頂きました。

千葉キャンパスから大勢の教職員が集まり、利他共生の教えと実践について、理解を深めるための貴重なひと時となりました。

カルマ師は「チーム淑徳の一員になった」と、これからも「淑徳と共に歩むこと」をお別れの時に、笑顔でおっしゃってくださいました。

カルマ・サンゲボ師に  
名誉博士の学位記が  
授与されました

埼玉キャンパス

教育学部開設10周年記念講演会を開催しました  
〈教育学部〉

2023年10月29日(日)、埼玉キャンパスの学園祭にあわせて、「淑徳大学 教育学部 開設10周年記念講演会」を開催しました。

教育学部は2013年4月に開設され、2023年3月までの10年間に715名の卒業生を輩出しています。

山口光治学長の挨拶の後、歌手の山野さと子先生を講師に、「笑顔と歌をポケットに」のテーマの下、講演が行われました。山野先生は1980年のデビュー以来、NHK教育テレビ「ゆかいなコンサート」の司会を務める他、たくさんの童謡・アニメソングをレコーディングされ、コンサートや講演会、また教員・保育者向け講習会でもご活躍です。

講演では、「シャボン玉」と「雨あがり」などの歌を通じた歌唱指導があり、また、エリック・カール作の絵本『月ようびはなにたべる?』の弾き語りをいっしょに歌い、数々の童謡や山野先生の代表曲「ドラえもののうた」などの歌も聞かせていただきました。アンコールでは「にじ」の歌をみんなで歌いました。

教育学部の卒業生や学生、近隣からの親子連れなど、1号館の大教室に集まった参加者は、楽しい時間を共に過ごすことができました。



山野さと子先生



みんなで歌います

地域創生戦略フォーラム  
〈地域創生学部〉

地域創生学部では、学部の開設記念イベントとして「地域創生戦略フォーラム」を各地で開催しています。「地域文化と地域づくり」をテーマとして10月8日に山梨県都留市で開催したのを皮切りに、和歌山県田辺市では「高校生による地域での学びと高等教育への期待」(11月25日)、福島県郡山市では「文化財をめぐる継承と発信の最前線」(12月2日)と題してそれぞれ行われました。たとえば郡山市のフォーラムでは、福島県の喜多方市役所や棚倉町役場で文化財に関わる実務を担当されている方をお招きし、近年の文化政策にもとづく現場の具体的な取り組みを教えていただき、今後の地域づくりに向けた文化財のあり方を考えました。地域創生学部では、正課としての授業以外にもさまざまな活動を通じて今後も積極的に地域と関わる機会を作っていきます。



「地域創生戦略フォーラムin福島」の様子

東京キャンパス

八潮こども夢大学が実施されました  
〈人文学部 人間科学科〉

2023年11月4日(土)に東京キャンパスで「八潮こども夢大学」が実施されました。これは、本学と八潮市との包括連携事業の一環として、小中学生の学ぶ意欲や探究心の向上を図る目的で行われている事業です。

2023年度は人間科学科が「心理学入門 錯視を通じて人間の不思議を体験しよう!」というテーマで担当し、八潮市の小学生9名、中学生3名、保護者3名をお迎えしました。大学からは、小川学部長、長谷川学科長に加え、人間科学科の教員3人、学生6人が授業に関わりました。

授業前半では、グループごとに奥行き認識に関する工作(奥に凹んでいるはずなのに手前に飛び出て見えるドラゴンの組み立て)を行い、後半は個人個人で希望する錯視に関するワーク(縞模様を線と歪んで見えるようになる錯覚、白黒なのに色が見えるコマの作成など)を行い、それぞれの不思議さや、ひとに備わっている仕組みについて学びました。



子ども達が作成しているところを学生がサポートしました



A0サイズ2枚を貼り合わせた大きな用紙で作成しました



授業の最後に集合写真を撮りました

教職サークル師道塾  
〈人文学部 歴史学科〉

将来中学校の社会科や高等学校の地理歴史科の教員を目指している学生が集う師道塾。1年生から3年生までの学生が集まり、授業力の向上を目的として毎週模擬授業を繰り返しています。

2023年度の全体活動は、2024年1月23日で終了となりました。最後の模擬授業に立ったのは、師道塾を牽引してきた3年生のふたり。彼らの集大成として、これまでに身につけてきた授業技術をすべて投入しながら、生徒役の下級生相手に模擬授業を展開していきました。授業を受ける立場の下級生も、真剣な眼差しでこれに応えます。模擬授業終了後には、3年生の卒業式が行われました。3年生からの挨拶では、この3年間の学びを振り返りながら、教員採用試験への決意を語っていました。彼らの努力が結実する日を心から願っています。



机間巡視で理解度をチェックします



笑顔も溢れる楽しい授業

Public relations team

## 広報チーム 発足!

淑徳大学の情報や魅力を  
学生目線で発信したいと、  
2024年1月現在、29名の学生が  
集まりました。  
毎週、公式InstagramやYouTube  
ショート動画を上げています。  
是非ご覧ください。



公式Instagram



公式YouTube



発行日 | 2024年4月1日

編集 | 淑徳大学 大学広報誌編集委員会

発行 | 淑徳大学 大学事務局

### 千葉キャンパス

総合福祉学部 コミュニティ政策学部  
大学院 総合福祉研究科  
〒260-8701  
千葉県千葉市中央区大巖寺町200  
Tel 043-265-7331

### 千葉第二キャンパス

看護栄養学部  
大学院 看護学研究科  
〒260-8703  
千葉県千葉市中央区仁戸名町673  
Tel 043-305-1881

### 埼玉キャンパス

教育学部 地域創生学部  
〒354-8510  
埼玉県入間郡三芳町藤久保1150-1  
Tel 049-274-1511

### 東京キャンパス

経営学部 人文学部  
〒174-8631  
東京都板橋区前野町6-36-4  
Tel 03-3966-7631



SHUKUTO KUMA

### 大学広報誌「Together」読者アンケートのお願い

大学広報誌「Together」は4月と10月の年2回発行しています。保護者や卒業生の皆様に向けて、「淑徳大学の今」をお届けします。皆様の貴重なご意見、ご感想をお聞かせいただきたく、右記QRコードより読者アンケートへのご協力をお願いいたします。

<https://forms.gle/RDXQi76XCA3ZfMBZ9>



公式HP



公式X



アドミッションセンター  
公式X



公式Facebook



淑徳大学  
共に歩む これまでも これからも

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

淑徳大学は持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。

淑徳大学は持続可能な開発目標 (SDGs) の達成に向け、積極的に取り組んでいます。その一環として、この印刷物はFSC®森林認証紙と、地産地消・輸送マイルージに配慮したライoinsインキを使用しており、環境に配慮した印刷物として発刊しています。